

令和6年度新卒採用技術職・業務分野及び主要拠点一覧

分類	業務分野	No.	主な勤務拠点
A	研究開発拠点における技術開発分野 ・原子炉・加速器等に関する運転・保守 ・廃止措置及び廃棄物処理・処分 ・燃料製造・再処理技術開発 ・放射性物質等の分析・解析・評価 ・原子力災害対策に係る業務 など	1	福島拠点
		2	原子力緊急時支援・研修センター
		3	原子力科学研究所
		4	J-PARCセンター
		5	大洗研究所
		6	敦賀総合研究開発センター
		7	核燃料サイクル工学研究所
		8	人形峠環境技術センター
		9	青森研究開発センター
		10	敦賀拠点
		11	本部（バックエンド統括本部）
B	核セキュリティ及び放射線管理・測定・モニタリングに関する技術開発分野 ・B-1 核不拡散・核セキュリティ関連業務 ・B-2 放射線管理・測定・モニタリング関連業務	99	全拠点
C	建設及びユーティリティ施設の工務技術に関する分野 ・C-1 建設に関する分野 ・C-2 ユーティリティ施設の工務技術管理に関する分野	99	全拠点
D	基幹情報システムの運営・技術開発分野 ・システム計算科学センターでのシステム業務	3	原子力科学研究所

<募集業務分野・関連拠点一覧>

No.	拠点名〔所在地〕
1	福島拠点〔福島県〕
2	原子力緊急時支援・研修センター〔茨城県〕
3	原子力科学研究所〔茨城県〕
4	J-PARCセンター〔茨城県〕
5	大洗研究所〔茨城県〕
6	敦賀総合研究開発センター〔福井県〕
7	核燃料サイクル工学研究所〔茨城県〕
8	人形峠環境技術センター〔岡山県〕
9	青森研究開発センター〔青森県〕
10	敦賀拠点〔福井県〕
11	本部（バックエンド統括本部）〔茨城県〕
99	全拠点 ※上記の拠点に加え、本部〔茨城県〕、幌延深地層研究センター〔北海道〕、東濃地科学センター〔岐阜県〕、播磨放射光R I ラボラトリー〔兵庫県〕

令6年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A (1)業務分野名 研究開発拠点における技術開発分野

(2)-1 本分野関連
拠点名 福島拠点

業務概要

東京電力ホールディングス㈱福島第一原子力発電所の廃炉推進に向け、事故により溶融・固化した燃料デブリや多種多様な放射性廃棄物等の取扱い、分析及び分析評価手法並びにデジタル技術などを活用した技術開発を進めています。最先端の分析装置類での分析に加え、試験やシミュレーションも併用しながら内外の専門家との協力体制の下に活動を進めるとともに、燃料デブリや放射性廃棄物の分析・研究を担う施設において、分析プロセスや安全管理を含む施設運転全般に係る技術管理体系の構築も目指しています。

求める人物像

○課題を解決するために、自らの意思で行動を起こし、職場の仲間とともに協力しながらその解決に向けて、柔軟に取り組むことができる人。
○現状に満足せず、常にカイゼンする意識をもちながら積極果敢に物事に取り組める人。
○福島復興に貢献するゆるぎない意志を持つ人。

専攻分野（望ましい分野）

理学系：数学・情報、物理、化学、生物・農学、地学・地球科学、量子科学

工学系：機械・システム工学、電気・電子、材料、土木建築、環境工学、原子力工学

その他：情報工学

関連するHP

<https://fukushima.jaea.go.jp/>

<https://fukushima.jaea.go.jp/recruit/>

令6年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

(2)-2本分野関連 拠点名	原子力緊急時支援・研修センター
業務概要	原子力機構では、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえた新しい原子力災害対策の考え方にに基づき、発災時の対応にあたる国や地方公共団体に対して人的・技術的支援を実施している。本分野では、緊急時の放射線モニタリング技術や緊急時における被ばく線量の評価技術の開発、国や地方公共団体の防災関係者への研修など、原子力災害対策の高度化を目指した業務を幅広く行う。
求める人物像	原子力防災や災害対策に意欲的に取り組む方、住民や社会への貢献を志す方を募集します。
専攻分野（望ましい分野）	理学系：数学・情報、物理、化学、生物・農学、地学・地球科学、量子科学 工学系：機械・システム工学、電気・電子、材料、土木建築、環境工学、原子力工学 その他：
関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/shien/
(2)-3本分野関連 拠点名	原子力科学研究所
業務概要	原子力科学研究所で行っている、国内でも他に類をみない様々な原子力基盤研究施設を利用したユニークな研究開発活動を、高度な専門技術者として支援する人材を募集します。 ①試験研究炉及びタンDEM加速器施設の運転管理・保守管理、廃止措置を行います。 また、原子力はもとよりその他の幅広い分野の専門性を活かして、試験研究炉JRR-3の利用性能の向上（中性子強度の増強、医療用RIの増産など）に向けた技術開発を行います。 ②臨界実験装置及びホットラボ施設の運転・保守管理、廃止措置、燃料・材料の化学分析・放射能分析・物性測定及びそれらの技術開発を行います。また、福島第一原子力発電所のデブリ燃料取り出しに必要な臨界データ取得のための技術開発を行います。 ③放射性廃棄物の減容安定化処理・保管管理、分析・測定及び使命を終えた原子力施設の廃止措置及び技術開発を行います。また、将来のバックエンド対策を推進する技術開発を行います。
求める人物像	・ユニークな研究開発の基盤を支える専門技術者を目指し、自分の専門分野以外にも積極的に取り組み、知識・技術の習得に意欲的に取り組める方。 ・役割をしっかりと認識するとともに、個人の特徴・能力を存分に発揮して、同じ目標に向かって一丸となって取り組むことができる方。
専攻分野（望ましい分野）	理学系：数学・情報、物理、化学、生物・農学、地学・地球科学、量子科学 工学系：機械・システム工学、電気・電子、材料、土木建築、環境工学、原子力工学 その他：
関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/

令和6年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

(2)-4本分野関連 拠点名	J-PARCセンター
業務概要	世界最先端大強度陽子加速器複合施設J-PARCを構成する、核破砕パルス中性子実験施設である物質・生命科学実験施設(MLF)において、1)原子力機構が設置・運用している中性子実験装置に関わる3Heスピンドルター等中性子ビームデバイスまたはガス/シンチレータ中性子検出器の維持・管理・高度化、或いは2)核破砕中性子源の運転に必要な不可欠な冷却水・ガス供給、遠隔操作等の付帯設備の運転・維持・管理・更新・高度化業務のいずれかを行う。
求める人物像	MLFは、年間1000人以上の利用者が利用する大型最先端実験施設であり、学術から産業利用までの広範な分野で成果を創出しており、今後もその先進性の維持が求められる。従って、自身の業務に関して、真面目に取り組む、進取の気性に富む人物を望む。
専攻分野（望ましい分野）	理学系：数学・情報、物理、化学、量子理学 工学系：機械・システム工学、電気・電子、材料、土木建築、原子力工学 その他：
関連するHP	https://j-parc.jp/c/index.html , https://mlfinfo.jp/ja/
(2)-5本分野関連 拠点名	大洗研究所
業務概要	当研究所は、革新炉（高速炉や高温ガス炉等）開発のための試験研究炉、照射後試験施設等における運転・試験に関連する技術開発、並びに廃止措置・放射性廃棄物処理処分に係る技術開発を柱に、以下の業務を国内外の関係機関とも協力しながら実用的な研究開発・技術開発を進めています。 ○高速炉サイクルの研究開発 次世代高速炉の設計、研究施設（高速実験炉「常陽」、高速炉研究開発関連施設、核燃料施設、機器開発試験施設等）を活用した高速炉安全性向上試験、燃料・材料の照射試験、革新技術の実証試験等及び各施設・設備の運転、点検、保守等に関する業務 ○高温ガス炉及び熱利用技術の研究開発 高温工学試験研究炉「HTTR」を利用した安全性実証試験、水素製造技術開発等、及び関連施設の設備運転、試点検、保守等に関する業務 ○材料試験炉等の廃止措置及び関連技術開発業務 材料試験炉（JMTR）及びJMTRホットラボの施設管理、及び廃止措置のための技術開発等に関する業務 ○廃止措置・放射性廃棄物処理処分技術開発 重水臨界実験装置（DCA）等の原子力施設の廃止措置技術開発や廃棄物管理施設及び固体廃棄物減容処理施設（OWTF）等の設備運転、試験、点検、保守、並びに放射性廃棄物処理処分のための減容や分析等の技術開発等に関する業務 ○安全管理等支援業務 研究所における安全管理、核物質防護、各施設のインフラ管理・工事監理等研究開発の支援業務
求める人物像	○原子力の研究開発には社会との対話による理解促進が必要であり、技術者としての能力に加えて、様々なステークホルダーとの交流を深めながら研究開発を進められる前向きでバイタリティのある人材。 ○常に好奇心と向上心を持ち、かつ、技術の深さと広がりを持ったエンジニアの育成を目指し、原子力のみならず、電気、機械、化学、材料などの工学、理学をはじめ幅広い人材。
専攻分野（望ましい分野）	理学系：数学・情報、物理、化学、生物・農学、地学・地球科学、量子科学 工学系：機械・システム工学、電気・電子、材料、土木建築、環境工学、原子力工学 その他：
関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/research/research_04.html

令和6年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

(2)-6本分野関連 拠点名	敦賀総合研究開発センター
業務概要	敦賀総合研究開発センターはレーザー応用技術及びナトリウム工学に関連する試験施設を有し、研究開発を行っています。 ①レーザー応用技術に関する研究開発 ②ナトリウム工学に係る研究開発 ③試験施設のインフラ管理、イノベーション創出のための産学連携活動等の研究開発支援業務
求める人物像	○原子力の研究開発には社会との対話による理解促進が必要であり、技術者としての能力に加えて、様々なステークホルダーとの交流を深めながら研究開発を進められる前向きでバイタリティのある人材。 ○常に好奇心と向上心を持ち、かつ、技術の深さと広がりを持ったエンジニアの育成を目指し、原子力のみならず、電気、機械、化学、材料などの工学、理学をはじめ幅広い人材。
専攻分野（望ましい分野）	理学系：数学・情報、物理、化学、生物・農学、地学・地球科学、量子科学 工学系：機械・システム工学、電気・電子、材料、土木建築、環境工学、原子力工学 その他：
関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/tsk/
(2)-7本分野関連 拠点名	核燃料サイクル工学研究所
業務概要	当研究所では、核燃料サイクル技術開発によるカーボンニュートラルへの貢献と持続的なバックエンド対策の着実な推進を柱に、以下の業務を海外とも協力しながら実用的な研究開発・技術開発を進めています。 ○核燃料サイクルに係る研究開発・技術開発 次世代炉用燃料設計・研究、次世代燃料用製造プロセス開発、MA含有燃料等の物性研究、軽水炉MOX燃料等の再処理技術開発、高速炉燃料等の再処理技術開発（MA分離回収含む）、AI等を活用した検査技術開発、分析用標準試料の技術開発、保障措置用先進非破壊測定技術開発 ○放射性廃棄物の処理処分に係る研究開発・技術開発 高レベル放射性廃棄物及びTRU廃棄物の処理・処分の研究開発、低レベル放射性廃棄物の処理・処分の技術開発、遠隔廃止措置技術開発、東電福島第一原子力発電所の廃止措置に係る研究開発、福島オフサイト廃棄物の処理技術開発 ○東海再処理施設の廃止措置 東海再処理施設の廃止措置技術開発（除染技術開発、高線量下での遠隔解体技術開発、分析技術開発等）、廃棄物の減容安定化・廃棄体化技術開発（ガラス固化、セメント固化等）及び廃止措置プロジェクトの最適化手法の開発 上記の他、研究施設の運転・維持管理及び技術の高度化に係る業務
求める人物像	○新しい技術開発に果敢にチャレンジし、好奇心・探求心にあふれ、多くの仲間とチームでプロジェクトを推進したいと志している人材。 ○核燃料サイクルに関する技術開発、国内初となる大型核燃料施設の廃止措置という長期プロジェクト完遂には様々な知識・技術が求められるため、原子力に限らず幅広い分野の人材。
専攻分野（望ましい分野）	理学系：数学・情報、物理、化学、生物・農学、地学・地球科学、量子科学 工学系：機械・システム工学、電気・電子、材料、土木建築、環境工学、原子力工学 その他：
関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/index.html https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/recruitment/index.html https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/cyclemovie/

令6年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

(2)-8本分野関連拠点名	人形峠環境技術センター
業務概要	人形峠環境技術センターの原子力施設の廃止措置及び鉱山施設の閉山措置を安全かつ着実に進めるため、核燃料物質、鉱さい等を適切に管理し、ウラン廃棄物の処理・処分、閉山措置に係る技術開発等を推進するために、以下の業務を行う人材を幅広く募集します。
求める人物像	学生時代の専攻は問わず、新しい技術開発や技術の応用に果敢にチャレンジし、多くの仲間とチームでプロジェクトを推進したいと志している人材を求めています。
専攻分野（望ましい分野）	理学系：数学・情報、物理、化学、生物・農学、地学・地球科学、量子科学 工学系：機械・システム工学、電気・電子、材料、土木建築、環境工学、原子力工学 その他：
関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/zningyo/

(2)-9本分野関連拠点名	青森研究開発センター
業務概要	青森研究開発センターにおいては、中長期的に原子炉施設の廃止措置を進める必要があることから、以下の業務を行う人材を募集する。 ①小型炉という特徴を有する原子力船「むつ」の原子炉の解体に向けた技術的検討 ②原子炉施設、一般施設等の運転・保守管理、港湾施設の維持管理及び放射性廃棄物の管理
求める人物像	○「むつ」炉の解体に向けた技術開発等を行うために、高い技術的専門性を身につける意欲のある方。 ○役割を認識して個人の能力を存分に発揮するとともに、仲間とのコミュニケーションを図って目標に向かってリーダーシップを発揮できる方。
専攻分野（望ましい分野）	理学系： 工学系：機械・システム工学、電気・電子、材料、土木建築、環境工学、原子力工学 その他：海洋土木
関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/aomori/

令和6年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

(2)-10本分野関連
拠点名

敦賀拠点

業務概要

原子炉の廃止措置は、運転段階に施設が持っていた放射能や危険物のリスクを取り除きながら安全に解体・撤去していきます。「建設～運転」に「廃炉」を加えた大きなサイクルの中で、原子炉の廃止措置を次世代に繋げることで原子力発電を持続可能な技術体系として確立する重要な役割を担っています。
「新型転換炉原型炉ふげん」「高速増殖原型炉もんじゅ」の廃止措置は、その独特さゆえに国際協力を通じて知見を取り入れながら様々な課題に挑戦する「新たな取り組み」であり、廃止措置の技術確立に向けて、主に以下の業務を進めています。
○ふげん：原子炉周辺設備の解体撤去、原子炉本体解体に向けた遠隔解体装置の開発など
○もんじゅ：国内初の大型ナトリウム機器解体に向けた計画検討や必要となる設備の整備など

求める人物像

国内で前例のない廃止措置を進めるため、「新たな取り組み」に対して職場の仲間と協力し、柔軟な発想力で取り組むことができる人。
廃止措置は様々な技術が求められるため原子力工学に限らず、各技術（遠隔・自動化を含む解体技術、廃棄物リサイクルを含む廃棄物処理システム技術 等）の専門家として活躍していきたいと考えている人。

専攻分野（望ましい分野）

理学系：数学・情報、物理、化学、生物、農学、バイオ、地学・地球科学等
工学系：機械・システム工学、電気・電子、材料、土木建築、環境工学、放射線、原子力工学等
その他：社会科学、総合科学

関連するHP

<https://www.jaea.go.jp/04/haishisochi/>

(2)-11本分野関連
拠点名

本部（バックエンド統括本部）

業務概要

私たちの暮らしを支えている原子力や放射線の利用をさらに発展させ、将来にわたって持続可能なものとするために必要な取組の一つである使命を終えた原子力施設の廃止措置や放射性廃棄物処理処分等のバックエンド対策を、安全かつ効率的に進めていきます。
①バックエンド対策の計画的かつ効率的なマネジメントの推進及び合理的な対策や技術開発成果の実証（総合計画の立案と推進、人材育成、知識のデータベース化、AI・先端技術利用による合理化検討、プロジェクト管理 等）
②全国の研究機関や医療関連施設等から発生する低レベル放射性廃棄物（研究施設等廃棄物）の浅地中処分を行うための埋設事業の推進（理解活動を含めた立地活動の推進、埋設事業の計画立案と管理、埋設施設の設計・安全評価 等）

求める人物像

○バックエンド対策に対し、使命感やチャレンジ精神を持ち、意欲的に業務に取り組むことができる人
○自身の専門分野にとどまらず、協調性を持ち、コミュニケーションを通じて全体の成果に貢献できる人
○専門分野で独創性や革新性を発揮し、技術開発等を通じてバックエンド対策の魅力を社会に発信できる人
○プロジェクトの推進（施設の廃止措置、バックエンド対策に必要な新規施設の設計・建設等）に意欲と責任を持って取り組むことができる人

専攻分野（望ましい分野）

理学系：物理、化学、生物・農学、地学・地球科学、数学・情報 等
工学系：機械・システム工学、電気・電子、材料、土木建築、環境工学、原子力工学、プロジェクトマネジメント 等
その他：

関連するHP

<https://www.jaea.go.jp/04/be/index.html>

令6年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

B (1)業務分野名 核セキュリティ・保障措置及び放射線管理・測定・モニタリングに関する技術分野

(2)本分野に関する
の業務概要

【B-1 核不拡散・核セキュリティ関連業務】

○原子力施設の運営に係る核セキュリティ（核物質防護、特定放射性同位元素防護、情報システムセキュリティ及び個人の信頼性確認制度等）及び計量管理・保障措置（核物質の管理、IAEAの査察対応及び保障措置協議等）に係る管理実務を、本部または拠点において行います。

○核セキュリティ及び計量管理・保障措置に係る規制上の要求事項に係る課題を解決するため、不審者等の検知や核物質の測定に係る技術開発や海外研究所との共同研究などを行います。

【B-2 放射線管理・測定・モニタリング関連業務】

○原子力施設の放射線安全確保のため、放射線管理及び施設周辺の環境放射線・放射能監視を実施します。運転管理等で取得した放射線管理データ等に分析を加え、より高度な放射線管理等に反映します。

○原子力施設のより一層の安全性向上を目指し、放射線管理等の高度化に関する技術開発を行います。具体的には、内部・外部被ばく線量評価に関する研究、新しい放射線検出デバイス等の開発、環境中の超ウラン元素分析等に関する技術開発等それぞれの分野での世界最先端の技術開発を行います。

○原子力機構の緊急時対応機能として必要な設備（通信設備、ネットワークシステム等）の維持、改善、更新等に関する実務を行います。

(3)求める人物像

【B-1 核不拡散・核セキュリティ関連業務】

核不拡散・核セキュリティ、保障措置等に関する分野での管理業務、技術開発等に強い意欲と責任感を持って取り組める人材を求めます。語学についての向上心と国際機関等国際的な職場での就労意欲の強い人材を求めます。

【B-2 放射線管理・測定・モニタリング関連業務】

原子力施設の放射線管理、線量測定、環境モニタリングに関する分野での管理業務、技術開発等に強い意欲と責任感を持って取り組める人材を求めます。

(4)専攻分野（望ましい分野）

理学系：数学・情報、物理、化学、生物・農学、量子科学

工学系：機械・システム工学、電気・電子、材料、環境工学、原子力工学

その他：医学・保健系学科

(5)関連するHP

<https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/houkan/index.html>

<https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/summary/center/houshasen/>

<https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/research/safety.html>

令6年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

C (1)業務分野名	建設及びユーティリティ施設の工務技術に関する分野
(2)本分野に関する業務概要	<p>全拠点（原子力科学研究所、核燃料サイクル工学研究所、大熊分析・研究センター等）において下記業務を行う。</p> <p>①建設に関する分野（土木・建築系、電気・機械系、耐震、地震・津波評価等） 機構が建設又は保有する原子力施設、研究施設等について、耐震、免震、制振等の最新技術工法による建築・土木構造物及び機械・電気設備の設計・構造評価及び施工監理の業務を実施するとともに、設計・構造解析手法、建設工法等の最新化・最適化に係る技術開発等の業務に従事する。また、規制・基準要求に基づき、地質・地盤構造の調査・解析を行い、地震動・基準津波を策定し、地盤、構造物への影響を評価する業務に従事する。</p> <p>②ユーティリティ施設の工務技術管理に関する分野（土木・建築系、電気・機械系） 原子力施設や研究施設等の運転・保守管理、各施設への電力等のユーティリティ供給を行うとともに、原子力施設の内装設備（機器、配管、機械類、電子装置等）の設計製作、施工監理、規制・基準に基づく設備の許認可対応及び技術開発に係る業務を行う。また、建築物・構築物、機械及び電気設備の営繕に係る補修・改修工事の設計、施工監理の業務を行う。</p>
(3)求める人物像	<p>原子力施設や研究施設の重要性や特殊性を認識したうえで、適用される法令等の規制要求を十分理解できる能力を有する者。 また、業務を遂行する上で必要な知識・技術を理解・吸収し、ニーズに合ったものを具現化できる高い専門性を有するとともに、研究開発を円滑に進める環境を整える重要な役割を担うことを認識し、自発的かつ確実な業務遂行に向け組織の一員として良好なコミュニケーションが図れる人物。</p>
(4)専攻分野（望ましい分野）	<p>理学系： 工学系：機械・システム工学、電気・電子、土木建築、原子力工学 その他：</p>
(5)関連するHP	<p>原子力科学研究所のHP (https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/) 核燃料サイクル工学研究所のHP (https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/index.html) 大熊分析・研究センターのHP (https://fukushima.jaea.go.jp/okuma/)</p>

令6年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

D	(1)業務分野名	基幹情報システムの運営・技術開発分野
	(2)本分野に関する業務概要	基幹情報システムは、日本原子力研究開発機構（以下、機構）の業務遂行に不可欠な重要インフラであり、機構の各種情報システムの安全性と信頼性を確保するための情報セキュリティ対策システム、日本全国に広がる機構の各拠点を結ぶネットワーク、原子力研究を支えるスーパーコンピュータ、業務のデジタル化を推進する情報基盤等から構成される。 本テーマでは、基幹情報システムに係る運用・管理、企画（整備計画立案）、システム設計、データ分析・解析、検証等を行うとともに、システム開発（構築・整備）、ソフトウェア開発、情報セキュリティやデジタル化に係る技術開発を実施する。また、機構のDX推進に係る技術的検討、環境構築にも従事する。
	(3)求める人物像	機構業務を支える基幹情報システムの重要性・意義を理解し、自らの役割を認識、行動できる人。常に先端情報技術の習得に努め、自身の強みを伸ばすことができる人。また、他の職員等（システムの利用者）との円滑なコミュニケーションのできる人。
	(4)専攻分野（望ましい分野）	理学系：数学・情報 工学系：機械・システム工学、電気・電子 その他：
	(5)関連するHP	https://ccse.jaea.go.jp/
